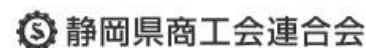


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 3 年 1 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 3 年 1 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 3 年 1 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【首都圏等の緊急事態宣言発令により旅館業・洗濯業を中心に一部業種を除き業況が悪化している】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-40.2（前月-37.3、前年同月-15.9）で、前月比 2.9pt 悪化した。首都圏等の緊急事態宣言発令の影響で先月に比べ、業況 DI が悪化した。特に旅館業、洗濯業においては改善の兆しが見られない状況となっている。

【製造業】

業況は-32.3（前月-30.4、前年同月-18.6）と前月に比べ 1.9pt 悪化した。一部の機械関連業にて受注が好調であるが、食料品関係は首都圏等の緊急事態宣言発令により、飲食業向け食材の卸や首都圏の観光客が激減し、土産物関連が減速しており、全体の業況を悪化させた。

【建設業】

業況は-38.2（前月-32.4、前年同月 5.9）と前月に比べ 5.8pt 悪化した。年末年始の長期休暇及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により、住宅需要の動きが鈍い状況である。

【小売業】

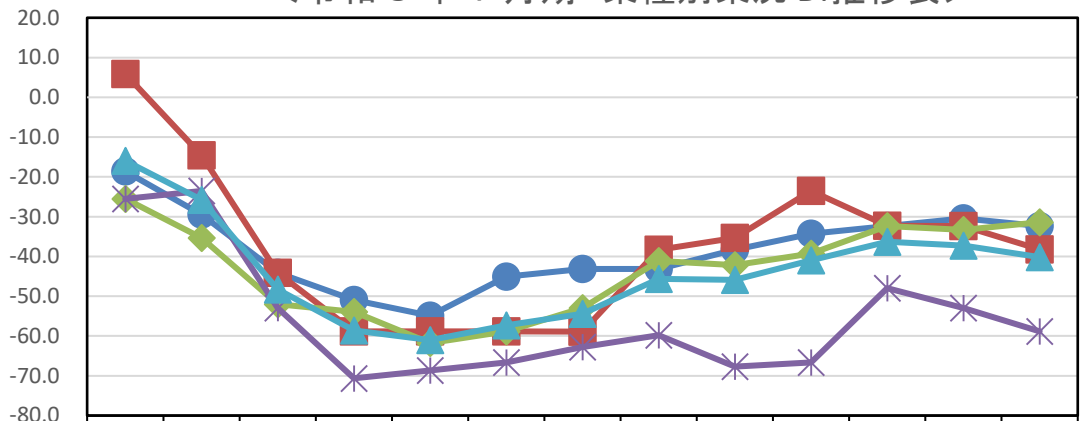
業況は-31.4（前月-33.3、前年同月-25.5）と前月に比べ 1.9pt 好転した。外出自粛により、衣料品の売上が減少している。一方、巣ごもり需要により、テレビ、空気清浄機や暖房機器等の耐久消費財の売上が大幅に改善されたことで業況を押し上げた。

【サービス業】

業況は-58.8（前月-53.0、前年同月-25.5）と前月に比べ 5.8pt 悪化した。先月に引続き、GoToトラベル一時停止、GoToEat 食事券の利用自粛及び緊急事態宣言発令により、宿泊・飲食共に打撃を受けている。また、宿泊業に関連し洗濯業も業況が悪化している。理・美容業においても成人式の縮小・中止の影響で業況が悪化した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和3年1月期 業種別業況 DI推移表＞



	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1
DI値(製造業)	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1	-38.3	-34.3	-32.4	-30.4	-32.3
DI値(建設業)	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3	-35.3	-23.5	-32.3	-32.4	-38.2
DI値(小売業)	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2	-42.2	-39.3	-32.4	-33.3	-31.4
DI値(サービス業)	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8	-67.7	-66.7	-48.0	-53.0	-58.8
DI値(全業種平均)	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6	-45.9	-40.9	-36.3	-37.3	-40.2

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・機械関係は、大型の小売店向け商品を取り扱う事業所は受注が好調である。(伊豆)
- ・緊急事態宣言により首都圏の観光客が激減し、土産物関連の食品が減速した。(富士駿東)
- ・茶業においてリーフ茶の製造は低調に推移している。茶で賞を獲得したところは売上が戻ってきている。(中部)
- ・食品において業況は回復しておらず、現状が「普通」ではないかと感じる状況下にある。(中東遠)
- ・食品にて飲食業者向けの食材の卸売りが急激に減少している。(西遠)

【建設業】

- ・年末までの仕事が落ち着き、緊急事態宣言の発令も影響し受注が減少し始めている。(伊豆)
- ・業者や業種ごとに差異が見られる状況となっている。(富士駿東)
- ・年末年始の長期休暇があった為、稼働日数が少なく、売上金額は前月と比較して減少している。(中部)
- ・コロナウイルス感染拡大が広まる傾向等の影響もあり住宅等の需要は不調である。(中東遠)
- ・1月後半から、仕事が薄くなってきている。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食品は外出自粛により来店客数が伸び悩み、生協等の宅配などに需要を奪われている。耐久消費財は巣ごもり消費もあり、テレビ等の受注が例年より増加している。(伊豆)
- ・高齢者の外出自粛もあり、贈答用(菓子等)売上にコロナウイルスの影響が表れている。(富士駿東)
- ・食品にて来客数の減少により売上減少のほか、仕入先の生産者等への間接影響が続いている。(中部)
- ・外出自粛の傾向で、衣料品の動きは鈍いが空気清浄機、暖房機器の売行きが良い。(中東遠)
- ・他の都府県の緊急事態宣言が発出され、外出用衣料について需要が減っている。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・洗濯業にて観光業以外の業種からの依頼も減少してきている。(伊豆)
- ・宿泊施設の稼働状況は正月の三が日のみが例年並みであり、以降は例年に比べ売上が大幅に減少した。(富士駿東)
- ・コロナウイルスの影響により成人式の縮小・中止で理・美容業は売上が減少。(中部)
- ・美容業では成人式中止により、関連する予約が全てキャンセルとなった。(中東遠)
- ・洗濯業において旅館や学校、企業関係からの受注が大幅に減少している。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和3年1月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.2	-29.4	悪化
売上	-38.3	-35.3	減少
仕入単価	-5.8	-2.9	低下
採算	-44.1	-47.1	好転
資金繰り	-41.2	-41.2	不変

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.7	-20.6	好転
売上	-14.8	-17.7	増加
仕入単価	8.8	8.9	低下
採算	-11.8	-14.8	好転
資金繰り	-11.8	-14.8	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.1	-41.2	好転
売上	-35.3	-44.1	増加
仕入単価	2.9	0	上昇
採算	-35.2	-41.2	好転
資金繰り	-32.3	-35.3	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.2	-32.4	悪化
売上	-38.3	-23.6	減少
仕入単価	-2.9	0	低下
採算	-32.3	-20.6	悪化
資金繰り	-41.1	-35.3	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-53	-53	不変
売上	-50	-47	減少
仕入単価	0	-3	上昇
採算	-47.1	-44.1	悪化
資金繰り	-52.9	-49.9	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.6	-14.7	悪化
売上	0	3	減少
仕入単価	-8.9	-5.8	低下
採算	-14.6	-20.6	好転
資金繰り	-26.4	-29.4	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-32.3	好転
売上	-17.6	-32.3	増加
仕入単価	3	3	不変
採算	-23.5	-29.4	好転
資金繰り	-29.4	-32.3	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-58.8	悪化
売上	-53	-50	減少
仕入単価	-5.9	5.9	低下
採算	-56	-55.9	悪化
資金繰り	-58.9	-58.9	不変

9.洗濯業

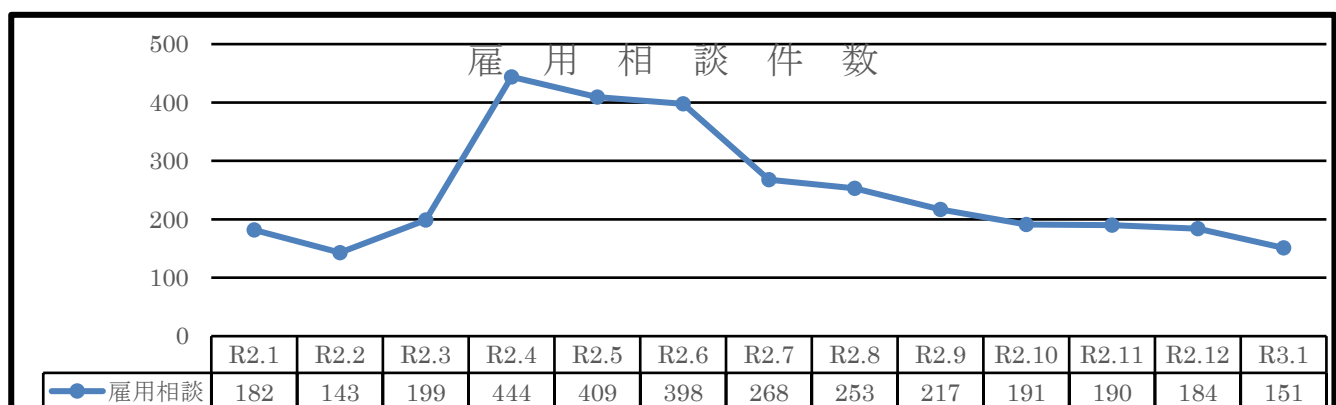
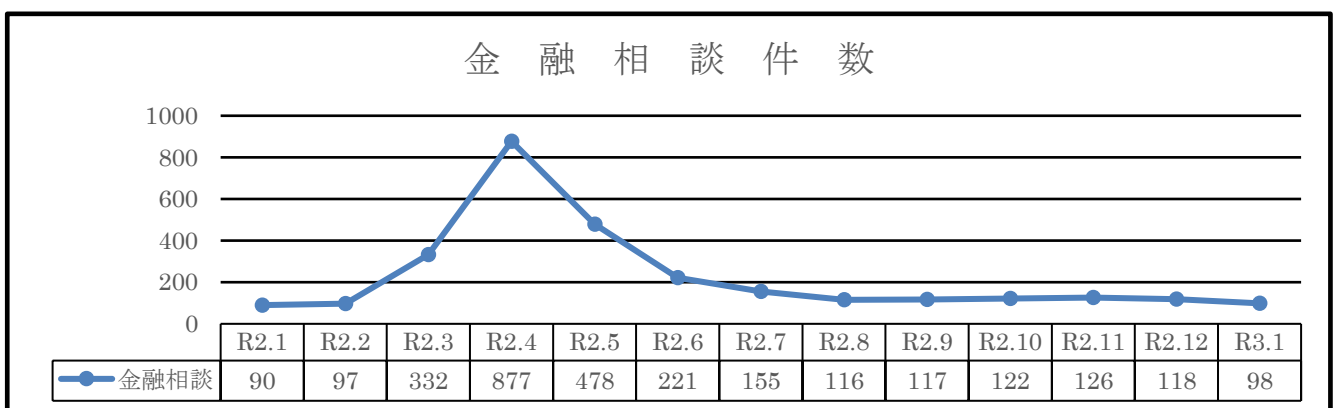
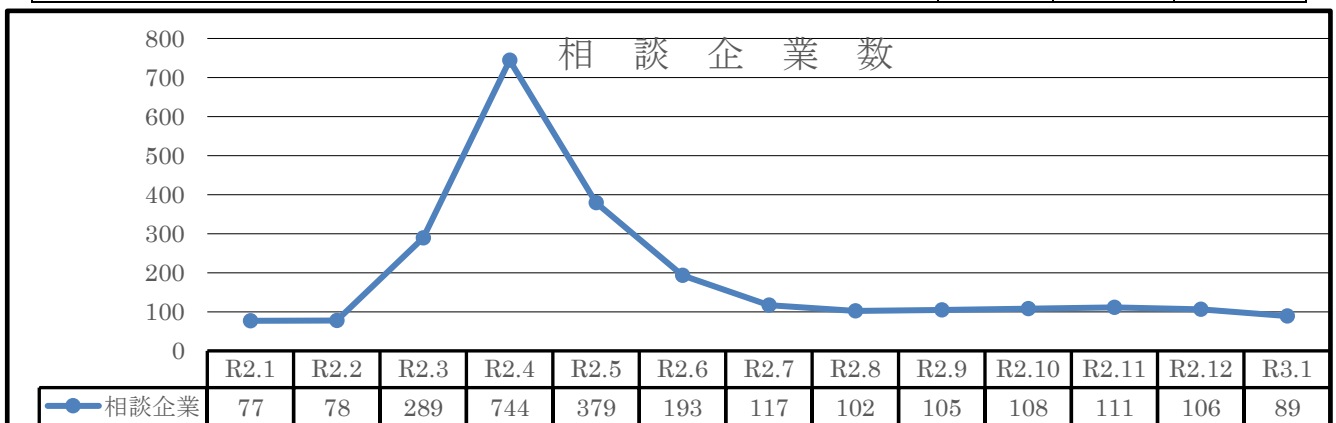
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-64.7	-53	悪化
売上	-58.9	-47.1	減少
仕入単価	3	5.9	低下
採算	-47.1	-41.2	悪化
資金繰り	-56	-41.2	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-50	-47.1	悪化
売上	-50	-47.1	減少
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-35.3	-32.4	悪化
資金繰り	-44.1	-41.2	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年1月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	89	106	-17
【金融相談件数】	98	118	-20
新規融資（借換えを除く）	57	61	-4
既存債務の借換え	32	44	-12
借入れ条件変更	0	3	-3
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	9	10	4
【雇用相談件数】	151	184	-6



【金融相談】

金融相談件数は、98件と前月(118件)に比べ20件減少した。業種によって、首都圏等で発令された緊急事態宣言の影響を受け、追加融資を希望する相談が増えている。反対に受注増加により、設備投資への資金相談もでてきている。

<経営指導員コメント>

- ・緊急事態宣言を受け、追加融資を希望する相談が増えている。(伊豆)
- ・相談のあった案件内容は受注増加に備える設備更新、運転資金確保など業況回復を期待できる状況での融資申込であった。(富士駿東)
- ・静岡県の感染拡大緊急警報を受け、飲食店からの融資相談が増加している。(中部)
- ・清掃業者がコロナウイルスの影響で受注先企業の清掃稼働が増え、清掃用具等を補完するバックヤード費用の融資相談があり、対応している。(中東遠)
- ・製造業に関しては親会社からの受注があり、何とか従業員を休ませずに事業を行っているが、飲食業は新年会、法事の予約がほぼゼロであり、売上は大幅に減少しており、厳しい状況にある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、151件と前月(184件)に比べ33件減少した。雇用調整助成金の相談が一定程度ある。また、就業規則を見直し、労働環境の整備を図る相談も見受けられる。

<経営指導員コメント>

- ・36協定の申請書変更に関し、問合せがあり対応した。(伊豆)
- ・コロナウイルス感染症拡大を受け、雇用調整助成金(教育訓練特例含む)の相談が一定程度あり、在籍型出向やパート社員の福利厚生向上のための労働条件改善等の相談があった。(富士駿東)
- ・入退社に伴う雇用保険手続き相談が主な相談となっている。(中部)
- ・雇用調整助成金、就業規則整備等の相談があった。(中東遠)
- ・飲食業者から春先に申請した雇用調整助成金を再度、申請したいと相談を受けた。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・例年2/10に開幕する河津桜まつりの中止が1/19に決定した。桜が咲けば観光客が来町することが予想されるため、実行委員会では来町者へ向け感染防止対策を徹底するほか、最低限の駐車場運営を実施することになっている。(河津町)
- ・新たな販路開拓としてオンラインワークショップモニター体験会を実施。1/17観光施設による「竹かごづくり」体験を開催。参加者に竹ひご等を郵送し、ZOOM生中継で竹かごづくりを体験した。(南伊豆町)
- ・GoTo商店街事業によるイベントの開催が予定されていたが、中止となった。(函南町)
- ・コロナ禍の状況であるが、商業部会で商店活性化のためスタンプラリー事業を計画し、2月から実施する。(小山町)
- ・商工会主催の名倉IT経営研究所セミナーを開催し、30名の受講者が参加。また、毎年3月に予定している高天神例大祭は昨年同様、神事のみを行うことに決定した。(掛川みなみ)
- ・市の中小企業等経営力強化支援事業補助金及びコロナ感染症対策補助金の補助対象期間と申請受付期間が一カ月延長となった。(浅羽町)
- ・中央から地方への流れで、コワーキングスペースを利用し、「働き方改革」も追い風となり、「イトリエ」への加入者が増加している。(浜北)
- ・観光協会や関所周辺自治会等で行った観光事業「牡蠣小屋」が今年で9年目となる。今年も昨年に引き続き不漁であり、養殖牡蠣の漁獲高が大幅に減っているが、テレビや新聞等のマスコミ取材で一定の賑わいを見せている。(新居町)